

# 守る消防

今を、明日を、未来を

## 巻頭特集



5月26日は県民防災の日です。41年前に発生した日本海中部地震の記憶を風化させないため、この日に合わせ県内各地で防災訓練などが行われます。今回は災害発生時、市民の安全を守る消防士取材。仕事の様子をインタビューと写真で紹介します。

能代山本広域市町村圏組合消防本部は、4署2分署3出張所で組織され、そのうち市には、能代・二ツ井消防署の2消防署と東・向・西出張所の3出張所が配置されています。各署所では、消防士が24時間勤務し、火災や救急などの災害発生時に、昼夜を問わず出勤して、市民の安全・安心を守ります。

消防の通常業務は、消防車両・資機材の点検整備、火災防ぎよ・救助・救急訓練、特殊建物への立入検査や火災が発生した際の原因調査などを行っています。

また、住民を対象とした救急講習会や火災予防のための出前講座も大切な消防士の仕事です。





## 能代山本広域消防本部 私たち消防の任務

職員には、共に仕事をす  
るうえで3つのお願いをし  
ています。1つ目に「常に目  
標を持って仕事を」、「2  
つ目に「無駄だと思ふ仕事  
でも率先して取り組む」、3  
つ目に「仕事に誇りを持ち  
好きになる」以上3つ、仕事  
をするうえで、とても大切  
なことだと思っています。

消防の任務は、さまざま  
な災害から地域住民の安  
全・安心を守ることであり、  
災害対応では、懸命な活動  
とともに、被災者への「寄り  
添う心、寄り添う言葉」が、  
とても大切であると思っ  
ています。

私たちは、これからも、思  
いやりのある、心の通った  
災害対応をしていきたいと  
考えています。



消防長 泉 政樹